18

彩の国東大宮メディカルセンター

医療法人社団協友会

▶ 研修医数 1年目 8名、2年目 7名

▶ 昨年度マッチング受験者数 65名

▶ 研修医の主な出身大学

順天堂大学、千葉大学、東京医科大学、昭和大学、東京慈恵会医科大学、秋田大学、東北大学、北里大学、信州大学、愛媛大学

病院の概要

NPO法人卒後臨床研修評価機構（JCEP）による認定 ／ 無

医師数	指導医数	病床数
73名（研修医除く）	56名	337床

1日平均外来患者数	1日平均入院患者数
535.8名	274.9名

■ 診療科

内科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、脳神経内科、腎臓内科、糖尿病･代謝内科、血液内科、リウマチ科、緩和ケア内科、外科、消化器外科、乳腺外科、肛門外科、腫瘍内科、整形外科、形成外科、脳神経外科、心臓血管外科、耳鼻咽喉科、眼科、泌尿器科、婦人科、皮膚科、麻酔科、放射線診断科、放射線治療科、リハビリテーション科、救急科、病理診断科、歯科口腔外科

■ 主な認定施設

埼玉県がん診療指定病院、日本医療機能評価機構認定病院、日本麻酔科学会認定研修施設、日本内科学会認定教育関連病院、日本循環器学会認定循環器専門医研修施設、日本外科学会外科専門医制度修練施設

研修プログラムの特色

当院では、初期研修の２年間は、将来どの専攻分野に進んでも困らないよう、基本的な臨床能力を習得する期間としています。

厚生労働省が定める到達目標をこの２年間で達成し、「3 年目に独り立ちできること」をスローガンとしています。専門医になったときの実力差は専門知識の量と技術はもちろん、他科との境界領域の知識量にも表れると言われています。ぜひこの２年間は、しっかりと「generalist mind」を育んでいただきたいと考えております。

常勤医師のほとんどが指導医であり、指導医をはじめ科全体、病院全体で研修医を育てる充実した指導体制をとっております。救急ローテート時や日当直では、ファーストタッチから一連の検査オーダー、診断までを研修医が主体的に行います。もちろん指導医や上級医がしっかりサポート・指導をしてくれますので安心して研修に臨むことができ、３年目独り立ちに向けて臨床能力を養うことができます。また、産婦人科・小児科・精神科・地域医療については、専門的な知識を十分に経験できる施設と連携しています。

プログラム例　彩の国東大宮メディカルセンター初期臨床研修プログラム／ 募集定員:8名

		1−4週	5−8週	9−12週	13−16週	17−20週	21−24週	25−28週	29−32週	33−36週	37−40週	41−44週	45−48週	49−52週
1年目	オリエンテーション	内科（24週以上）							外科（8週・2ヶ月）		救急（8週・2ヶ月）		麻酔（8週・2ヶ月）（当院必修）	
		内科（8週・2ヶ月）			消化器内科（8週・2ヶ月）		循環器内科（8週・2ヶ月）							
2年目		地域医療（4週）※外来平行研修（外部研修）	小児科（4週）※外来平行研修（外部研修）	産婦人科（4週）（外部研修）	精神科（4週）（外部研修）	救急（4週）	調整月（4週）	自由選択科目 ※1科につき最長12週まで						

○必修：内科 24 週（内科、消化器内科、循環器内科）、救急科 12 週、外科８週、麻酔科８週、地域医療４週（外来４週）、精神科４週、小児科４週（外来４週）、産婦人科４週、調整科４週（必須科目の達成度、日数不足分等の調整）

○自由選択 24 週（内科、消化器内科、循環器内科、救急科、外科、麻酔科、放射線科、整形外科、泌尿器科、脳神経外科、膠原病･リウマチ内科、血液内科、緩和ケア内科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、病理診断科）

※産婦人科、小児科、精神科、地域医療については、連携病院との調整 ※自由選択は、１科につき最長 16 週まで ※外来研修は内科・小児科・地域医療にて対応

■ 研修医の処遇

給与　1年目:45万円／月、2年目:50万円／月

諸手当　当直手当、日勤手当

保険　協会けんぽ、厚生年金保険、雇用保険、労災保険あり、医師賠償責任保険（病院において加入）

勤務時間　①月～金:9時～17時30分 、土:9時～13時（隔週）②月～金:9時～18時／8時30分～17時30分

当直　あり（週1回まで）

休暇　有給休暇（1年目:10日 、2年目:11日）

宿舎　住宅貸与、家賃補助有（5万円まで／月）

その他　学会･研修会等参加の費用負担あり（8万円／年）3回／年（公休扱い）医療費見舞金制度（月3万円まで）、保養所 院内旅行、その他

■ 主な臨床研修協力病院･協力施設

小池内科クリニック（地域医療）、平戸市民病院（長崎県・地域医療）、大宮厚生病院（精神科）、埼玉精神神経センター（精神科）上尾中央総合病院（小児科・産婦人科）、埼玉医科大学総合医療センター（小児科・産婦人科）、越谷市立病院（小児科・産婦人科）国立病院機構埼玉病院（小児科）、自治医科大学附属さいたま医療センター（産婦人科）、国立病院機構西埼玉中央病院（産婦人科）他

当院の魅力

3年目の独り立ちを目指して

①救急部での幅広い症例経験

新病院移転後、急性期対応型に進化した救急部は、救急搬送患者を年間約5,000件受け入れています。1次、2次救急を中心に、小児科･産科以外の患者すべての受入れを目指しています。救急部の研修では、「3年目に独り立ちできていること」を強く意識し、様々な疾患の初期対応をファーストタッチから経験できます。

②指導医だけではない、診療科全体、多職種によるサポート

当院では、マンツーマンの指導体制を取っていますが、指導医だけではなく、診療科全体で研修医を育てる体制となっており、幅広い指導が受けられます。

各科診療科の連携が良く、看護師、薬剤師、リハビリ、事務職など、病院全体で研修医の成長をサポートします。

③off the job trainingのサポートも充実

モーニングレクチャー、ランチョンセミナー、院内学会、EBMセミナーなど、各種開催

④メンター医師制度の確立、センター長面接

初期研修医3～4人に1人の常勤医師を配置し、皆様のメンタルヘルスケアのみならず、多くの指導医が専門分野だけでなく、初期研修医の日常に接することで、臨床研修センター自体の活性化を図っていきます。

また定期的なセンター長との個人面談で、研修進度の確認や今後の進路などについても相談できる体制です。

＋

女性医師支援

・育児休業制度・短時間勤務制度・深夜業務の制限
・時間外労働時間の制限・子の看護休暇制度
・病院のすぐ横に、24 時間保育室を運営
・医局に女性専用ラウンジ設置

＋

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

随時開催

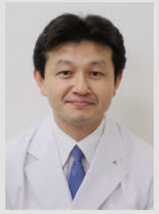
・病院 HP の応募フォームからお申込みください。

・研修医への Q&A、メッセージリレー動画も掲載していますので、ぜひご覧ください。

連 絡 先

病院名　彩の国東大宮メディカルセンター
所属　臨床研修センター 野口
住所　〒331-8577 さいたま市北区土呂町1522
TEL　048-665-6111（代表）
FAX　048-665-6112
E-mail　kenshui@shmc.jp
URL　https://www.shmc.jp/index.html
アクセス　JR宇都宮線 土呂駅から徒歩11分

研修責任者からメッセージ



プログラム責任者

長田 秀夫

当院の様々な取り組みの一端をご紹介します。

1．「挨拶をする」「時間を守る」「約束を守る」「協力する」

医師として成長していく上で非常に重要な要素の1つと考えております。医師である前に、社会人としての常識は当然備えていなければなりません。当たり前のことを自然にできるように指導しております。

2．チーフレジデントの選出

院内の各種部会への参加、研修医の意見･要望のとりまとめ、初期研修医採用試験の面接官の一員等々、上から与えられてこなすのみではなく、自ら考え行動し、自分達のみならず未来の後輩たちも更により良き研修をできるように活動していく中心的役割を担います。

3. 学会発表などのプレゼンテーション教育

皆様には2年間の研修中、多くのプレゼンテーションを実施する機会が与えられます。特に院内学会やランチョンでは専門科の枠を超えて院内常勤医や他職種が集い、様々な質疑応答を経験することができます。研修修了時にはスライド作成、プレゼンテーション能力が十分身につくように指導に力を入れております。

4. 各診療科の研修内容のフィードバック

時代や環境の変化とともに、研修メニューや指導医の考え方も柔軟な対応が要求されます。各診療科部長には皆様も参加する臨床研修委員会等を通じ、研修内容のフィードバックや改善など随時お願いしております。そして当院の柱の1つである救急科（2次救急 ,年間5,000件程度）の現場でCommon Diseaseを中心にして幅広い分野の疾患、外傷などの初期対応能力を習得して頂きます。

未来に向けてまだまだ新たな取り組みを導入したり、改善していく所存です。

一緒に頑張りましょう！！

先輩研修医の声

研修医１年目

久勝 康史

当院の魅力の1つは、多くの経験を積めるということです。当院には専攻医がほぼいないため、多くの手技や症例を経験することができます。縫合や静脈･動脈採血、ルート確保、気管挿管、尿道カテーテルなどの一通りの手技を、指導医の下で受けられるだけではなく、的確なフィードバックによりさらに深く学ぶことができます。私は外科をローテートして、縫合について確実な自信を持つことができました。

研修医１年目

堺 愛果

当院を選んだ理由の1つは、病院全体の雰囲気の明るさに魅力を感じたことです。医師同士はもちろん、スタッフ同士での挨拶が頻繁に交わされており、それにより明るい雰囲気となりメディカルスタッフと良い関係を築けていると思います。普段からメディカルスタッフの方々に相談する機会は多く、患者さんの状態や処方、退院に向けての計画など些細なことでも快く教えてくださいます。スタッフとの良好な関係は、働きやすい職場環境につながり、結果的に質の高いチーム医療を患者さんにも提供できると思います。